

厚生労働省科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業

「医師と医療関係職種等との連携や勤務形態のあり方に関する研究」

平成21年度 総括・分担研究報告書 研究代表者 永井良三

より一部抜粋

研究概要:

重症患者や全身麻酔による術後患者の治療・療養過程で実施されている比較的侵襲度の高い医療処置・行為(全12大項目、全111項目)を抽出し、全国80大学病院毎に医師10名看護師20名を対象にアンケート調査を実施。

調査項目(重症患者・術後患者管理)

表中には、重症患者や全身麻酔による術後患者の療養過程において、医療者により日常的に実施されている医療行為を示しています。

項目ごとに、以下の①～④の事柄について、()内の回答選択肢より該当するものを選択してください。なお、選択した職種は、その行為を行うことへの決定(指示、処方)、および実施に対する責任を担う者とします。

- ① 各項目について、あなたが勤務する部署で通常実施しているのは、どの医療職種ですか(複数回答可)。
(A. 医師、B. 看護師、C. 薬剤師、D. 臨床工学技士、E. 理学療法士、F. 臨床検査技師、G. その他)
- ② 効率的で質の高い医療を提供するために、各項目を医師以外の職種が実施することについて、あなたの考えは次のうちどれですか。
(A. 医師以外の職種も実施してよい・あるいはすでに実施している、B. 医師のみが実施すべき)
- ③ と④は、②でAと回答された方のみ、ご回答ください。
- ③ その場合、誰が実施するとよいと思いますか(複数回答可)。
(B. 看護師、C. 薬剤師、D. 臨床工学技士、E. 理学療法士、F. 臨床検査技師、G. その他)
- ④ ③で選択した職種が当該項目を実施する場合の要件は何だと思いますか(③で複数回答された場合、それぞれの職種について回答してください)。
(A. その職種の免許があればよい、B. 免許取得後、重症患者病床等での十分な実務経験があること、
C. 免許取得のための基礎教育に加えて、一定期間の研修や上級の教育課程を修了していること)

		項目	①	②	③	④
循環・体液管理		末梢静脈路(留置針使用)確保				
		輸液剤(等張液 ; リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与				
		輸液剤(高張液 ; グリセロール、マニトール等)の投与				
		血液製剤の投与				
		昇圧剤の投与				
		降圧剤の投与				
		抗不整脈薬の投与				
		利尿剤の投与				
		低血糖時のブドウ糖注射液の投与				
		高血糖時のインスリンの投与				
		血清電解質が正常より逸脱している場合の補正				
		CVカテーテルの抜去				
		CVカテーテル挿入部のドレッシング交換				
		膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え				
総合的薬剤管理		尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄				
		腎障害・肝障害時の薬剤処方(薬剤選択、投与量・用法設定)				
		副作用早期発見・発生防止のための血液検査				
		副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定				
		薬物間相互作用回避のための処方(薬剤選択、投与量設定)				
		注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更				
		注射薬の溶解液の処方(薬剤選択、溶解液量の設定)				
	透析患者への処方調整((薬剤選択、投与量・用法設定)					
	薬剤の経管投与時の錠剤粉碎、脱カプセル、あるいは代替処方					
	継続指示薬剤の処方					

医師と医療関係職種等との連携や勤務形態のあり方に関する研究

抗菌薬投与	抗菌薬の投与				
	抗菌薬の血中濃度測定(TDM)				
	抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験				
栄養管理	高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方(病態や栄養状態に基づき、総カロリー・糖・蛋白・脂肪・ビタミン・微量元素などの組成を考慮した処方設計)				
	経腸栄養剤の処方(病態や栄養状態に基づき、総カロリー・糖・蛋白・脂肪・ビタミン・微量元素などの組成を考慮した処方設計)				
	静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続				
身体状況査定	動脈血採血(Aラインからの採血)				
	動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)				
	簡易血糖測定				
	胸部・腹部レントゲン撮影				
	胸部・腹部超音波検査				
	緊急血液検査(血算、生化学等)				
	心電図12誘導検査				
	肺動脈嚔入圧測定				
	Aラインの挿入・入れ替え				
	Aラインの抜去・圧迫止血				
	動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置				
	呼吸管理	酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)			
トラヘルパー挿入					
気管挿管(経口挿管)の実施					
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更					
鎮静剤の投与(麻薬を除く)					
麻薬性鎮静剤の投与					
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)					
抜管に向けた呼吸器ウィニングスケジュールの作成					
ネブライザー用薬液の処方					
気管挿管チューブの抜管					
気管挿管の再挿管の実施					
NPPV 開始					
創傷・ドレナージ管理	気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換				
	創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方				
	創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント				
	皮下膿瘍の切開・ドレナージ				
	表創(非感染創)の縫合				
	体表面創の抜糸・抜鉤				
	SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更				
	胸腔穿刺				
	心嚢穿刺				
	腹腔穿刺				
	腹腔ドレーンの抜去				
	心嚢ドレーンの抜去				
胸腔ドレーンの抜去					
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更					
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)					

医師と医療関係職種等との連携や勤務形態のあり方に関する研究

疼痛管理	硬膜外チューブの抜去				
	鎮痛剤(麻薬を除く)の処方				
	麻薬性鎮痛剤の処方				
	鎮痛剤の持続皮下投与				
消化管管理	飲水可能か否かの査定				
	飲水開始の決定				
	食事開始の決定				
	食事内容の決定・変更				
	経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え				
	イレウス管の挿入				
	内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方				
	緩下剤の処方				
	排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方				
	グリセリン浣腸の処方・実施				
活動	安静度・活動範囲の決定(指示)				
	離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)				
説明	患者・家族への病状説明				
	患者・家族への治療計画説明				
	患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)				
その他	診断書の記載				
	手術記録の記載				
	診療情報提供書・紹介状の記載				